

3-8. こども保育科 教育課程

① 教育目標

人間形成の基礎を培う重要な時期である乳幼児期。この重要な時期に関わる“保育教諭”は、子どもたちの成長にも大きな影響を及ぼします。子どもたちが、どのような出会いをし、どのような経験をするかにより、将来も大きく変わります。無限の可能性を秘めた子ども一人一人の個性を活かし寄り添い、次世代を担う子どもを育成する保育が求められています。

また、地域の問題として、「待機児童問題」や保育所不足から働くことを諦めるお母さんたちの“隠れ待機児童問題”など、保育教諭の人材需要ニーズは高まっています。

本科では、保育のプロとしての技術・能力・視野と感性を養い、自分で考え行動できる保育教諭を育成していきます。その論理的な学習を通して習得した知識を生かし、実際の保育現場での実習に臨みます。幼稚園での教育実習、保育所や児童養護施設、障害児施設などでの保育実習など、豊富な実習や見学を体験します。その実習プログラムを通して、豊かな人間性や専門性を高め、プロの保育教諭となるための技術や能力、自覚や責任感を身につけます。

また、学友・子ども・同僚・保護者など、様々な人を「理解」し、それぞれに「寄り添う」心を大切にする学生を育成します。理論と実践による学習により、広い視野を養うとともに、協調性や主体性、コミュニケーション力を高めます。

さらに、地域や社会に貢献できる能力を育成します。

卒業時には、卒業証書と共に幼稚園教諭二種免許状、保育士、社会福祉主事（任用）などの資格を手にすることが出来ます。

【1年次】

1年次は、保育・教育の基礎知識や技術を幅広く学びます。また、近隣施設との連携授業やボランティア活動を通じて、様々な人々を理解し寄り添う心を養います。2月には、2年次の保育実習を行う保育園の協力を得て、プレ実習を実施し、保育現場への理解を深めます。

【2年次】

2年次は、1年次で培った基礎知識や技術を応用し、子どもたちとのコミュニケーション方法や日常の保育活動の記録など、より実践的な学習を行います。保育実習・教育実習で具体的な経験を積み、保育者としてのスキルを磨きます。これにより、資格取得に向けた具体的なステップを踏み出します。

【3年次】

3年次は、施設実習、保育実習・教育実習の責任実習を行い、実際の保育現場で責任ある役割を担います。これにより、保育士・幼稚園教諭二種免許取得に向けた最終段階となります。

また、近隣園と連携しておはなし会やリトミックを実践し、保育現場での実践的な経験を積みながら、子どもたちとのコミュニケーション能力や創造力を高め、就職へ向けた準備をします。

さらに、3年間の学びを総まとめとして卒業研究および発表会を行います。

②取得目標資格

資格名・級	主催	受験時期
【1年次】 日本語ワープロ検定	日本情報処理検定協会	7月
【2年次】 Microsoft Office Specialist Word 365	Microsoft	10月
【3年次】 Microsoft Office Specialist Excel 365	Microsoft	12月
保育士 幼稚園教諭二種免許 社会福祉主事(任用) 認定絵本土		

③ 目標とする職業

保育士、幼稚園教諭、保育教諭、福祉施設職員、託児施設職員 他

④イベント・行事予定

実施時期	行事内容	場所
【全学年共通】		
7月 年間	保育科遠足(春) 保育特別講座 全5回程度	
【1年次】		
7月	園見学	近隣協力園
11月	発達支援施設見学	各実習園
2月	保育プレ実習・報告会	各実習園
【2年次】		
6月	保育実習・実習報告会	各実習園
9月	救命救急法講座	本校ホール
10月	教育実習・実習報告会	各実習園
【3年次】		
5月	施設実習・実習報告会	各実習園
6月	教育実習・実習報告会	各実習園
10月	保育実習・実習報告会	各実習園
通年	認定絵本土養成講座	本校・近隣協力園
2月	卒業研究発表会	本校

※記載されている行事の中止や変更、予定外の行事を追加で実施する場合があります。

教育課程及び授業日時数

こども保育科

区分	科	目	専門課程			単位数		
			1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次
一般科目	選択	1 コミュニケーション活動Ⅰ	60			1		
		2 コミュニケーション活動Ⅱ		60			1	
		3 コミュニケーション活動Ⅲ			60			1
		4 キャリア講座		30			1	
	一般科目	5 ビジネスマナー			30			1
		6 情報リテラシーⅠ	30			1		
		7 情報リテラシーⅡ		30				1
		8 情報リテラシーⅢ			60			2
		9 地域連携携	30			2		
		10 文章表現現	30			2		
		11 公務員試験対策講座Ⅰ		60			2	
		12 公務員試験対策講座Ⅱ			30			1
		13 英会話Ⅰ	15			1		
		14 健康科学Ⅰ	15			1		
		15 情報処理入門Ⅰ	15			1		
		16 日本国憲法	30			2		
専門科目	必修	17 幼児の心理学	15			1		
		18 教育の原理	30			2		
		19 造形表現（指導法）	15			1		
		20 幼児と言葉	15			1		
		21 幼児と人間関係	15			1		
		22 幼児と環境	15			1		
		23 社会福祉	30			2		
		24 子ども家庭福祉		30				2
		25 保育の原理		30				2
		26 社会的養護Ⅰ	30			2		
		27 子ども家庭支援論		30				2
		28 幼児への特別な支援		15				1
		29 子ども食と栄養		15				1
		30 子どもの保健		30				2
		31 保育の心理学		30				2
		32 子どもの家庭支援の心理学		30				2
	必修	33 教育課程総論	30			2		
		34 教育方法論	30			2		
		35 教職概論	30			2		
		36 教職相談		30				2
		37 保育・教職実践演習			15			1
		38 児童文化	15			1		
		39 乳児保育Ⅰ		30				2
		40 音楽Ⅰ	90			3		
		41 音楽Ⅱ		120				4
		42 音楽Ⅲ			90			3
		目	43 実習指導Ⅰ	60			2	
	44 実習指導Ⅱ			60			2	
	45 実習指導Ⅲ				60			2
	46 リトミックⅠ		30		30	1		1
	47 制作演習Ⅰ			30			1	
	48 制作演習Ⅱ				30			1
	49 制作演習Ⅲ				60			2
	50 絵本教育Ⅰ			30			1	
	51 絵本教育Ⅱ				60			2
	52 自然教育Ⅰ				30			1
	スクーリング科目	53 交流ゼミⅠ	30			1		
54 交流ゼミⅡ			30			1		
55 交流ゼミⅢ				30			1	
56 運動遊び				30			1	
57 卒業研究				60			2	
スクーリング科目			290	310	270	14	14	10

スクーリング科目については、別表(1-3)に基づき、理事長が認めた提携先に在籍して履修するものとし、本校の卒業に必要な単位に換算するものとする。

教育課程及び授業日時数

こども保育科 スクーリング科目

区分	科	目	専 門 課 程			単 位 数		
			1 年 次	2 年 次	3 年 次	1 年 次	2 年 次	3 年 次
専 門 科 目	必 修	1 英 会 話 I S	20			1		
		2 生 涯 ス ポ ー ツ S	30			1		
		3 情 報 処 理 入 門 I S	20			1		
		4 幼 児 と 音 楽 表 現 S	20			1		
		5 音 楽 表 現 技 術 S		20			1	
		6 幼 児 と 造 形 表 現 S		20			1	
		7 教 育 心 理 学 S	20			1		
		8 健 康 (指 導 法) S	20			1		
		9 人 間 関 係 (指 導 法) S	20			1		
		10 幼 児 と 健 康 S		20			1	
		11 造 形 表 現 (指 導 法) S	20			1		
		12 音 楽 表 現 (指 導 法) S	20			1		
		13 環 境 (指 導 法) S	20			1		
		14 言 葉 (指 導 法) S	20			1		
		15 社 会 的 養 護 II S		20			1	
		16 障 が い 児 保 育 S		20			1	
		17 子 ど も の 食 と 栄 養 S		20			1	
		18 子 育 て 支 援 S		20			1	
		19 劇 あ そ び (指 導 法) S	20			1		
		20 教 育 実 習 事 前 事 後 指 導 S		20			1	
		21 保 育 内 容 総 論 S	20			1		
		22 教 育 実 習 ① S		30			1	
		23 教 育 実 習 ② S			90			3
		24 保 育 ・ 教 職 実 践 演 習 S			20			1
		25 児 童 文 化 S	20			1		
		26 乳 児 保 育 II S		20			1	
		27 子 ど も の 健 康 と 安 全 S			20			1
		28 保 育 実 習 I (保 育 所) S		60			2	
		29 保 育 実 習 I (施 設) S			60			2
		30 保 育 実 習 事 前 事 後 指 導 I (保 育 所) S		20			1	
		31 保 育 実 習 事 前 事 後 指 導 I (施 設) S		20			1	
		32 保 育 実 習 II S			60			2
		33 保 育 実 習 事 前 事 後 指 導 II S			20			1

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 こども保育科)															
分類	専 門 ・ 一 般	必修 ・ 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
								講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
一般		選択	コミュニケーション活動Ⅰ	入学時のオリエンテーション、遠足、保育キャリア講座など、学校環境への適応と保育分野への理解を深める。	1通	60	1		○		○	○			
一般		選択	コミュニケーション活動Ⅱ	遠足や各実習報告会を行い、より実践的なコミュニケーションスキルを高める。	2通	60	1		○		○	○			
一般		選択	コミュニケーション活動Ⅲ	より実践的な保育特別講座を実施し、社会人になることを意識した技術の習得をする。	3通	60	1		○		○	○			
一般		選択	キャリア講座	社会人としての知識とマナーを身につけ、実習やボランティアなどで役立てる。	2通	30	1		○		○		○		
一般		必修	ビジネスマナー	保育現場や社会で信頼されるためのビジネスマナーを身につけ、円滑な人間関係と職務遂行能力を養う。	3通	30	1		○		○		○		
一般		必修	情報リテラシーⅠ	パソコンの導入から操作方法と利用技術を実践的に学ぶ。	1前	30	1	△	○		○		○		
一般		必修	情報リテラシーⅡ	パソコンの実践的な利用技術を学び、資格取得を目指す。	2前	30	1	△	○		○		○		
一般		必修	情報リテラシーⅢ	パソコンが実社会でどのように利用されているかを学び、就職後も役立つ活用方法を学ぶ。	3通	60	2	△	○		○		○		
一般		必修	地域連携	近隣の園と連携しボランティアを実施し、その学びを報告会として学生同士で情報共有する。	1通	30	2	△	○		○	○	○		○
一般		必修	文章表現	保育現場で必要な文章力を身に付ける。例えば、保護者への連絡帳・園だより・保育記録・研修レポートなど。また、単位取得に必要なレポートの書き方を学ぶ。	1通	30	2	○			○		○		
一般		必修	公務員試験対策講座Ⅰ	公務員試験の概要を調査し、自分に合った進路選びに役立てる。保育専門分野を中心に対策をする。	2通	60	2	○			○		○		
一般		必修	公務員試験対策講座Ⅱ	受験のための資料作成・面接対策を実施する。	3通	30	1	○			○		○		
一般		必修	英会話Ⅰ	子どもや保護者とコミュニケーションがとれるよう基本的な英会話や、表現の仕方を学ぶ。また、基本的な英文法を理解する。	1後	15	1	○	△		○			○	
一般		必修	健康科学	健康や体力に関する知識や関心を高め、合理的な運動実践が習慣化するための方策を考える。	1前	15	1	○	△		○			○	

分類	専門・一般 必修・選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
一般	必修	情報処理入門Ⅰ	コンピュータの歴史やハードウェアの仕組みについて学ぶ。 また、保育分野でのICTの活用について学ぶ。	1前	15	1	○	△		○		○		
一般	必修	日本国憲法	日本国憲法の枠組みを体系的に理解しながら、憲法が求めている理念とは何か、現代社会との間にどのようなギャップがあるかを学習する。	1前	30	2	○			○			○	
専門	必修	幼児の心理学	保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点を理解する。子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。	1後	15	1	○			○			○	
専門	必修	教育原理	教育の本質・意義・機能に関する理論や知識を習得し、現代社会における教育の諸課題について考察する力を身に付ける。また、幼児期の教育の基本原則とその特徴を理解する。	1前	30	2	○			○			○	
専門	必修	造形表現 (指導法)	幼児の造形（絵画や粘土・工作）表現様式を発達段階を追って学ぶ。自らも作成しながら、指導法を身につける。	1前	15	1	○	△		○			○	
専門	必修	幼児と言葉	人間にとっての言葉（言語）の役割・言語獲得の理論を理解する。 子どもの言葉を育む適切な環境について理解し、保育者としての子どもとの関わり方を身につけて実践する。	1通	15	1	○			○			○	
専門	必修	幼児と人間関係	領域「人間関係」に関する保育・教育内容及び指導に関する知識・技術を習得する。 子どもの発達を領域「人間関係」の観点で捉え、子どもの理解を深める。	1通	15	1	○			○			○	
専門	必修	幼児と環境	幼児教育の基本及び領域「環境」のねらいと内容、「環境とかわる力」の発達を理解する。自然環境や社会環境などの具体的な生活体験を重視した保育、特に子どもの自然と関わる力を深める保育を実践的に指導できるようにする。	1前	15	1	○			○			○	
専門	必修	社会福祉	社会福祉に関する基本的知識を身に付けるとともに、我が国の社会保障における仕組みや特徴を理解する。	1通	30	2	○			○			○	
専門	必修	子ども家庭福祉	現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。子どもの人権擁護について理解する。	2通	30	2	○			○			○	
専門	必修	保育原理	保育の意義、保育所保育指針における保育の基本、保育の内容と方法の基本、保育の思想と変遷について、基本的な内容を理解する。また、保育の現状と課題について考察する。	2前	30	2	○			○			○	
専門	必修	社会的養護Ⅰ	現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。社会的養護の制度や実施体系等について理解する。	1後	30	2	○			○			○	
専門	必修	子ども家庭支援論	保育の専門性を活かした子ども家庭福祉の意義と基本について理解し、子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について学ぶ。	2前	30	2	○			○			○	
専門	必修	幼児への特別な支援	特別支援教育に関する制度の仕組みや各障害のある幼児の発達や特性、保育者の支援方法について理解し、個別の指導計画及び教育支援計画の基礎について学ぶ。	2後	15	1	○			○			○	
専門	必修	子どもの食と栄養	子どもの発達・特性、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、乳幼児期における心身の発達段階に応じた栄養法、食生活、集団給食（保育所給食）、食育の重要性を理解する。	2後	15	1	○			○			○	

分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
専門・一般	必修・選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
専門	必修	子どもの保健	子どもの保健の意義を理解し、子どもを取り巻く最近の問題点及び今後の課題や子どもの心身の正常な発育及び、発達段階の各期の特徴を学ぶ。	2前	30	2	○			○				
専門	必修	保育の心理学	保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点を理解する。乳児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。	2後	30	2	○			○				
専門	必修	子どもの家庭支援の心理学	心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等を理解する。家族・家庭の意義や機能、親子関係や家族関係について発達の観点から理解し、子どもとその過程を包括的にとらえる視点を習得する。	2後	30	2	○			○				
専門	必修	教育課程総論	幼稚園における教育課程、保育所における保育課程の編成と指導計画の作成の基本的な考え方・意義を理解し、計画、実践、省察・評価、改善の過程について学び実践できるようにする。	1後	30	2	○			○				
専門	必修	教育方法論	教育の方法に関する理論的知識を習得し、乳幼児期の教育の方法に関する基本原理を理解する。また、実践力の向上を目指す。	1前	30	2	○			○				
専門	必修	教職概論	教職・保育職の意義やその役割、職務内容などの基本的な理解を通して、現在の保育者に求められる資質や保育者として社会の期待に応える為にどのような努力をすれば良いのかを考えていく。	1前	30	2	○			○				
専門	必修	教育相談	現代社会で起きている様々な子育てに関する問題を知り、子どもの心の成長やつまずき、保護者への支援に関しての理解を深め、子どもや家庭への支援の基本を学ぶ。	2後	30	2	○			○				
専門	必修	保育・教職実践演習	保育士・幼稚園教諭として必要なコミュニケーション能力を習得し保育者としての使命感と職務内容について理解する。	3後	15	1	△	○		○				
専門	必修	児童文化	保育の質を向上させるために必要な児童文化財や遊びの実践を通して、専門的な知識を得る。また、保育者になってから適切な児童文化財を子どもに与え、実践的な指導ができることを目標とする。	1後	15	1	○	△		○				
専門	必修	乳児保育Ⅰ	乳児の成長発達や発達課題、保育内容、保育実践の方法を学習し、知識と技能を身に付ける。また、保護者を支援する保育者としての役割や乳児保育の必要性について考える。	2前	30	2	○			○				
専門	必修	音楽Ⅰ	保育者として、重要な音楽表現をするために音楽鑑賞・歌・楽器演奏・リズム遊びを身に付ける。また、楽譜読みに必要な音楽理論の基礎も学ぶ。	1通	90	3	△	○		○				
専門	必修	音楽Ⅱ	音楽Ⅰを基礎に、器楽の演奏技術を取得し、童謡の弾き歌いが出来る技術を身に付ける。また、童謡の伴奏に必要なコード進行を理解する。	2通	120	4	△	○		○				
専門	必修	音楽Ⅲ	クラス活動の中に音楽が取り入れられるよう、子どもたちの前での童謡の弾き歌いが出来る技術を身に付ける。より多くの季節の歌・童謡・わらべ歌を知り、教育活動に活かせる技術を身に付ける。	3通	90	3	△	○		○				
専門	必修	実習指導Ⅰ	保育士及び幼稚園教諭資格取得に向けて、実習の仕組みを理解する。また幼稚園・保育所の機能や内容・目的を理解し、実習やその手続きがスムーズに出来るようにする。	1通	60	2	△	○		○				
専門	必修	実習指導Ⅱ	2年次で行われる 保育実習・教育実習に向けて、日誌の書き方、指導計画の方法などを学ぶ。	2通	60	2	△	○		○				

